

【例】第一種社会福祉事業を営む施設で、給水契約がない場合  
様式第3号（第5条関係） 10世帯入居の場合

令和 年 月 日

佐賀市上下水道事業管理者 宛

佐賀市物価高騰対策水道未使用者等支援金申請書兼請求書  
(福祉用)

佐賀市物価高騰対策水道未使用者等支援金について、佐賀市物価高騰対策水道未使用者等支援金交付要綱第5条に基づき、申請及び請求します。

1 申請金額 金 55,660 円 (入居世帯 10+1) × 5,060 円

2 申請・請求者

申請・請求者	
団体名	社会福祉法人 ○○福祉会
代表者名	水道 太郎
所在地	佐賀市若宮三丁目6-60
申請の担当者	水道 次郎
連絡先	0952-10-1111
申請・請求する福祉施設	
施設名	○○園
施設の所在地	佐賀市若宮一丁目1-1

3 誓約事項

<input checked="" type="checkbox"/>	支援金は、入居者に還元します。
<input checked="" type="checkbox"/>	入居者数に相違があった場合は、交付を受けた支援金の一部を返還します。

※全ての項目に「✓」を記入してください。

4 振込先 ※原則、2に記載した団体の口座としてください。

金融機関名	○○ 銀行・農協 金庫・組合 △△ 本店・支店 出張所
預金種別	普通 当座 その他 ( ) 口座番号 1234567
フリガナ	シャカイフクシホウジンマルマルフクシカイダイヒョウスイドウタロウ
口座名義人	社会福祉法人 ○○福祉会 代表 水道太郎

担当者チェック欄 住所等確認 ☐免許証 ☐マイナンバーカード☐その他 ( )  
口座確認 ☐ 通帳またはキャッシュカード

## 5 現在入居状況表

1 申請金額 と一致

申請・請求する福祉施設の名称 〇〇園

(佐賀市上下水道局に福祉用水道料金のみを支払っている場合・井戸水等を使用している場合)  
 支援金の算定  $5,060 \text{ 円} \times (1 \text{ 施設} + \underline{10} \text{ 部屋 (世帯等)}) = \underline{55,660} \text{ 円}$

(佐賀市上下水道局に福祉用と一般用水道料金を併用して支払っている場合・佐賀東部水道企業団に水道料金を支払っている場合)  
 支援金の算定  $5,060 \text{ 円} \times (\underline{\hspace{2cm}} \text{ 部屋 (世帯等)}) = \underline{\hspace{2cm}} \text{ 円}$

※佐賀市上下水道局に福祉用と一般用水道料金を併用して支払っている場合（第1種社会福祉事業とそれ以外を併用している）、佐賀東部水道企業団に水道料金を支払っている場合は、水道料金の基本料金が減免となるため、施設は支援金の対象外です。それ以外は、施設も支援金の対象になります。

部屋 番号等	入居状況 入居又は未入居	部屋 番号等	入居状況 入居又は未入居	部屋 番号等	入居状況 入居又は未入居
101	入居				
102	入居				
103	未入居				
105	入居				
106	未入居				
107	入居				
108	未入居				
201	入居				
202	入居				
203	入居				
205	未入居				
206	入居				
207	入居				
208	入居				

部屋数 14 のうち、  
入居世帯数 10

※複数の世帯等が同室の場合の記載例 ●●号室①、●●号室②